

事務事業 No./名称	■サービス部門 子育て-24 育成事業 □支援部門						
主管課	青少年課	関連課					
分野名	青少年育成						
目標 (目標値)	家庭、学校や地域と連携する中で青少年の健全な育成を図る。						
人口等の データ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備考		
	人口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯			
7~20歳の人数	19,357人	19,791人	19,540人				
運営資源 状況	決算値(千円)	6,754	6,702	7,286			
	(国・県)	288	245	489			
	(負担金等)						
	(一般財源)	6,466	6,457	6,797			
	人員配置数	1.6	1.6	2.0			
	人件費(千円)	14,983	15,649	18,067			
	協働の パートナー	・青少年指導員連絡協議会 ・青少年協会	・青少年指導員連絡協議会 ・青少年協会	・青少年指導員連絡協議 ・青少年協会・市子連			
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	21,737	22,351	25,353			
	市民1人当 りの経費(円)	123	127	144			
	対象者1人 当りの経費(円)	1,123	1,129	1,297			
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
子ども会支援数	◎	目標値	60団体	60団体	75団体	75団体	75団体
		実績値	68団体	71団体			

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。							
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。							
小事業名	H22決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性 A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止							
育成事業	6,754千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒	■A □B □C □D □E
	事業の概要	子ども・若者の健全育成の環境整備のため子ども・若者育成プランの策定を進めた。また、青少年指導員及び青少年協会と協力連携し、青少年のキャンプなど様々な健全育成事業を行うとともに、成人のつどい事業を行っている。									
	事業の概要	①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要										
事業の概要	①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A □B □C □D □E	
事業の概要											
事業の概要	①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A □B □C □D □E	
事業の概要											
事業の概要	①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A □B □C □D □E	
事業の概要											

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)	
H22年度の課題	・(仮)子ども・若者育成プランの策定を進め、青少年健全育成のための取組を充実する必要がある。 ・事業仕分けの結果、成人のつどいにおける芸人のアトラクションを見直すこととなった。 ・鎌倉市子ども会育成連絡協議会が解散し、地域における子どもの育成活動の現状やニーズが把握しにくい。
課題解決のための取組	・(仮)子ども・若者育成プラン骨子案に対する意見募集を終え、プラン原案を策定した。 ・成人のつどいのアトラクションを著名人の講演とした。 ・子ども会活動の活性化のため、子ども会への運営費助成の周知に努めた。
未解決の課題	・(仮)子ども・若者育成プランの策定を進め、青少年健全育成のための取組を充実する必要がある。 ・鎌倉市子ども会育成連絡協議会が解散し、地域における子どもの育成活動の現状やニーズが把握しにくい。
今後の方針	・(仮)子ども・若者育成プラン原案に対する意見募集を行い、平成23年8月までに策定を目指す。また、プランの実効性を高めるための進行管理の方法を検討し、プラン登載事業の実施に向け検討を進める。 ・引き続き子ども会活動を支援するとともに、青少年指導員やジュニアリーダーと協力・連携しながら地域の現状把握に努め、青少年育成事業に生かして行く。 ・成人のつどいの見直しを進める。
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
	A ※ □事業完了 課長名 青少年課長 能條 裕子

